東地区ってこんなとこ

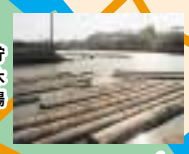
市内を９地区に分けて、地域の情報を紹介しています。
本号では「東地区」を紹介します。

沼垂まつり「献額灯籠」

朱鷺メッセ

朱鷺メッセからの眺め

Why なぜ赤道？
通称「赤道（あかみち）」と呼ばれているこの道路。舗装される前は、工場から出た酸化第二鉄を含む赤茶けた土が敷かれていたため、本当に赤い色をしていたといいます


貯木場

諏訪神社の大ケヤキ

沼垂のはじまり

今から約1350年前の大化３年、日本書紀に「淳足柵を設け…」との記述があります。新潟に関する地名が登場した最も古い文献といわれています。

江戸時代初期、沼垂は王瀬（現在の山の下から上王瀬町付近）にあり、港町として栄えていました。しかし、川欠けなどで約50年間に４度も町ごと移転を余儀なくされ、現在の地には貞享元年（1684）に移ってきました。昭和59年には定住300年を記念する石碑＝**写真**＝が建てられています。

③こども創作活動館

旧豊田城幼稚園を改装した子どものための施設です。創作活動や音楽・演劇の鑑賞会、絵本の読み聞かせなど、さまざまな事業を実施しているほか、放課後の遊び場としても開放しています。

①阿賀野川河川公園

河川敷を利用して造られた緑豊かな公園です。野球場やテニスコートなどの運動施設のほか、芝生広場、12のかま場を備えたピクニック広場があり、市民が思い思いのレジャーを楽しんでいます。

⑤蒲原まつり

毎年６月30日から行われる蒲原まつり。県内で最も数が多い約600軒の露店が、道の両側にびっしりと並びます。その年の稲の作柄を占う蒲原神社の「お託宣」も有名です。

④沼垂の朝市

法光院（沼垂東３）の敷地内とその周辺で開催されている朝市で、200年近い歴史があります。新鮮な野菜や果物、花、魚などを求める人が早朝から数多く訪れます。

②エコープラザ

家庭から出される缶・ビンを再利用するための選別施設です。ごみの減量やリサイクルについて学習、体験できるほか、不用になった家具や家電製品などの展示提供も行っています。